名古屋丸の内ロータリークラブ Weekly Report

例会場　名古屋クレストンホテル　TEL　052-264-8000
例会日時　木曜日　12:30
クラブ会報広報委員長　立石ゆかり
HP　http://rc.nagoya-seinan.org/

2021-22年度RIテーマ
会長 シェカール・メータ
奉仕しよう みんなの人生を豊かにするため

承 認　1995.3.28
会 長　亀井 克典
幹 事　松尾雄二郎
事務局　名古屋市中区栄3-29-1
名古屋クレストンホテル 1007号
TEL　052-263-1324
FAX　052-263-0730
Email　seinan1@fancy.ocn.ne.jp

亀井克典会長 年度目標　：ポストコロナの時代に向けて、新たな親睦、交流、奉仕の活動をはじめよう

第1183回 例会　No.20　令和4年3月17日　(木)	
■ﾛｰﾀﾘｰｿﾝｸﾞ	「それでこそロータリー」
■出席報告	会員44名中26名出席
■出席率	63.41%　出席計算人数41名
■ゲスト	名古屋和合RC　南館　哲也さん 岡田　寛治さん

会長挨拶　亀井克典

皆さんこんにちは。

蔓延防止措置の解除が21日ですが、愛知県も踏み切ると思います。

このようなスクール形式で何とか例会を行ってきましたが、蔓防解除になり円卓に戻っていければと思っています。けれど医療現場の感覚としましては、高齢者施設のクラスターや、今週もうちの職員も2人ほど陽性になりましたが、感染高止まりといった感じです。ですから経済活動優先すると言う形で解除になるようですが、少し不安に思います。

第7波、もしくは第6波が再燃すると言う懸念も一部の専門家が言っておりますが、年度末と言うのは人の移動が激しくなりますから、心配な面もありますが、状況がおさまりまた皆さんと親睦交流ができればと思っております。

ウクライナの話をしますが、お手元に日本事務局財団室RI事務局の号外というのを配布しております。ウクライナの人道支援について先々週の例会でもご紹介した通り、国際ロータリーから人道支援を積極的にやっていこうと言う声明が出ております。それに基づいてこの財団をつうじた寄付支援活動と言うのが呼びかけられており、丸の内ロータリークラブとしましても、幹事とも相談しましたが、積極的に取り組みたいと思っています。

ウクライナの情勢は皆さんもご承知のことと思いますが、当初開戦したのは2月24日ですので木曜日で、ちょうど3週間です。当初の報道によると3日位でキエフは落ちるだろうと、圧倒的な軍事力の差があって、電撃戦でロシアが勝利すると言うのがセオリーでしたが3週間たってもキエフは落ちません。そしてそのロシアに包囲されていると言うキエフに、ポーランドや東欧の3カ国、チェコの首相級の人たちが入って会談をするといった状況を作ったゼレンスキー大統領は大変努力されたと、とても驚きました。

本当に自由と民主主義を防衛すると言う使命感で、たくさんの方が命を落としていますが、戦っておられるウクライナの市民の方たちには、心からの連帯と支援の気持ちを表したいなと私は思っております。今回一番驚いたのは、SNSの発達によって民間人や病院に対する攻撃であったり、破壊された国土の状況であったり、リアルタイムに発信されているというのが、今までになかったことだと思います。イランイラク戦争などいろいろありましたが、その時は実際にそういう映像、攻撃している側からの映像しかわからなかった。攻撃されている側の映像がリアルタイムに入ってくるというのが初めてのことではないかと思います。

オンラインで日本の国会でゼレンスキー大統領が演説すると言う話がありますが、昨日はアメリカの国会でオンライン演説しました。オンラインでいろんな交渉ですとか、演説が行われると言うのも、今までなかったことだと思い、ICTの発達の凄さを感じさせられています。こういった中でロシアは報道統制されており、一般の国民はテレビでは一方的な政府の主張を聞かされていますが、ロシアの第一テレビと言う国営テレビで人気のニュース番組で、スタッフがポスターを出して「騙されるな」、「戦争をやめろ」と訴え、拘束されましたが、下手をするとあの方も監獄に入れられてしまうかもと言う中、勇気を持って行動された事は、日本で振り返りますと第二次世界大戦の時に似たような国による報道統制と言う時代がありましたが、今後日本でもどういう状況になるかわかりませんが、今の日本のジャーナリストたちが同じように勇気を持った行動が取れるかどうか甚だ疑問に思っております。

先ほど申し上げました通り、ロータリー財団の要請に応えて、国際ロータリーの要請に応えて寄付活動を3つのチャンネルで皆さんから寄付を募集したいと思っています。

1つは4月に2回例会がありますが、例会の時に募金箱を設置させていただく。もう一つは事務局からファックスを流させていただきますが、事務局が指定する口座に振り込みの形で寄付をいただく。最後の一つは4月の理事会で協議したいと思いますが、ニコボックスの中から一定のお金を寄付すると、この3つ

のチャンネルで、まとまったお金をロータリー財団に寄付できればと考えていまして、皆さんにご協力をお願いしたいと思っていますので、よろしくお願いしたいと思います。4 月に戦況がどうなっているか、ただ何百何千人と言う方が国土を逃れて難民となっていますし、映像を見ても本当に破壊し尽くされている。これから長い年月にわたって支援が必要になると思いますので、私たちも微力ながら支援に取り組んで行けたらなと思っております。ありがとうございました。

ニコBOX

名古屋和合 RC　南館哲也さん　岡田寛治さん

本日は５０周年事業の八神純子コンサートの PR に伺いました。どうぞよろしくお願い致します。

●本日の卓話は新しい同好会設立にむけて、マラソン同好会の活動を紹介していただきます。

松尾さん、堀江亮介さん　よろしくお願いいたします。

亀井会長、髙橋、岩田、加藤、磯部、松尾、後藤、水野、河原、西川、立石、横田、恵利、小原、大塚、石井、矢野、堀江俊通、佐久間、小野、黒田(敬称略)

本日合計　47，000 円

名古屋和合･名古屋東山 RC 創立記念式典ご案内

名古屋和合 RC　南館　哲也さん　　岡田　寛治さん

５０周年事業の八神純子コンサートの PR に伺いました。みなさま、よろしくお願いいたします。

今後の例会予定

3月24日(木)休会(定款第7条第１節-d-1)
3月31日(木)休会(定款第7条第１節-d-1)
4月7日(木)「PETS 報告」会長エレクト　武山卓史さん
4月14日(木)会員卓話　後藤　敞さん
4月 21 日(木)例会変更　WFF4/23～4/24

米山奨学生お別れ会報告　　立石ゆかりさん

3 月 12 日の土曜日、午後 5 時からホテルメルパルク名古屋にて、米山奨学期間修了者歓送会が行われました。私はカウンセラーの矢野さんの代理で、松尾さんと一緒に参加させていただきました。その時のことを簡単にご報告させていただきます。第一部で米山奨学期間修了証授与式がありまして、修了証記念品授与それから指導教員紹介、博士号取得者紹介等行われました。次に第二部として懇親会が開かれ、お食事をしながら奨学生や指導教員カウンセラーのスピーチを 1 人ずつ聞かせていただきました。簡単なスピーチではありましたが、奨学生の皆さんの努力ですとか、いろんな気持ちとか聞くことができまして、とても良かったです。

丸の内の奨学生であるリンちゃんも、出席しスピーチをしていただきまして、リンちゃんはタイのロータリーと、日本のロータリーの架け橋になりたいと、そういうふうにスピーチをしてくれました。

最初に私がリンちゃんに会ったのは米山奨学生のオリエンテーションです。その日も矢野さんの代理で出席したのですが、その時に出席させていただいて、最初からすごくいい子で、にこやかで本当に驚いたのが、日本語がペラペラですし、漢字カタカナひらがなを全部書き分け普通にさらさらさらと書いていたのに、すごく感心いたしました。それから意気投合して、ちょうどリンちゃんと知り合ってすぐくらいに、タイのドラマの翻訳の仕事が来ていて、タイ語を翻訳するわけではなく、英語にされたものがあるので、その英語から日本語にする仕事なのですが、英語なのできちんと訳されていない箇所や、全く英語になっていないところがあったり、画面内の文字、字幕等もついていないので、わからないところを何とかできないかと思っていましたら、そういえばリンちゃんがタイの子だと言うことを思いつき、すぐに連絡をとってタイ語を教えてもらいましたが、すぐにサッと気持ちよく教えてくれて、本当に助かって、このためにカウンセラーの補佐をやっているのかしらと思い、それまで以上に仲良くなれましたしすごく楽しい体験をさせていただきました。感謝をしています。

ロシア出身の指導教員の方だと思いますが、ウクライナの事は外せないですので、そのロシアの方の簡単なスピーチで、「私た

ちは皆平和を願っています。仲良くこれからもやっていきたい」とおっしゃった時に一斉に会場から拍手がわき起こったのは、すごく印象的でしたし、皆さんもそういう気持ちでした。平和ってすごく大事ですし、これからもしっかりとウクライナの為にも、住んでいるロシア人の方の為にも平和を主張していかなければいけないと感じた瞬間でした。カウンセラーの補佐でしたがすごく楽しい経験をさせていただきました。本当にありがたいと思っています。どうもありがとうございました。

会員卓話

「マラソン同好会活動紹介」

堀江亮介さん

堀江でございます。

西尾マラソンはフルマラソンで、42.195 キロの大会ですが、今村さん、松尾さんは最後まで走りきってゴールをされてましたが、私はといいますと、25 キロのところで回収バスと言う、リタイアをした人を拾って回収していくとバスに乗って帰って参りました。

と言うことで僕は完走していませんので、松尾さんから随分とチクチクといじめられております。大軍の将は兵を語らずと言いますが、マラソンは自分が将でもあり兵でもあるので、兵の立場で思いっきり言い訳をさせてもらいたいと思いますが、西尾マラソンと言うのはもともと一色マラソンと言う歴史あるマラソン大会を拡大して行われた第一回目の大会でした。

一色マラソン自体を後で調べたら、あの漁港

の一色の方ですので、海風がものすごいと昔から有名な大会だったようです。調査不足でございました。

今年は第一回目なのでそれをベースに作ったコースでした。

最初の 10 キロ位は大丈夫でしたが 10 キロ過ぎた位から、ずーっと何故かずっと向かい風でした。走る向きが変わっても向かい風、しかもその日は半端な向かい風ではなく、立っているのが難しい位の台風の風、その状態の中でマラソンをいたしました。

それでも松尾さんは素晴らしいタイムでゴールしておりますので、全く言い訳にはなりませんけれどもいい大会でした。

フルマラソンは長いのでエイドステーションで軽い食べ物をいただけますが、一色マラソンではうなぎの蒲焼が串に刺してありマラソン中に食べられると言う、世界中探しても他にないのではないかと思う、すばらしい大会でして、僕はうなぎをたくさん頂きました。ご飯も欲しいなと思う位おいしいうなぎでした。来年リベンジで出るかと言うと、大会本部も風に関して意見もあるかと思いますので、もしかしたらコースをちょっと変えてくるとか、逆回転にすればいいわけで。来年出るかどうかはまだ検討中でございます。

コロナの影響で大会が軒並み中止で、西尾マラソンも開催できるとしたら奇跡に近いと言うような状態でございましたので、事前にあまり準備ができておりませんでした。購入しましたこの靴は 5 本指の裏はゴムがペラっとしただけのトレーニング用のシューズですが、これを履いてこれからしっかり走り込んで、二度と松尾さん今村さんに負けないように、がんばっていきたいと思います。

松尾雄二郎さん

今村さんはマラソン未経験ですが 3 月 6 日に西尾のほうでマラソンがあると見つけくださり、参加してきました。僕はマラソンは一昨年位から始めました。3 年前からちょっと走っている人がいるよと、体にいいからみんなでやろうと言うことで、その時に既に犬山のハーフマラソンの企画があり、参加いたしました。今村さんは、タイム締め切り直前位で走りきりましたが、森田親睦委員長が僅差でゴールできず。今村さんはその後も練習を続けてきまして、その後仙台にフルマラソンで行く企画がありましたが、コロナで中止が続いていまして、さらにその後も練習を続けていましたら、西尾でマラソンがあると自分で見つけてきて、エントリーいたしました。僕らよりも早くからマラソンをしている堀江さんは、卓話でもアイアンマンというもっとすごい 17 時間とか戦ったお話をされていました。森田さんが出ていると言う話もあって、このあと時間が余ると思うのでお話をお願いしようと思っていたのですが、今日は欠席でした。そのほかに、ウルトラマラソンとかもすごいタイムで完走しちゃう田中如以総監督もいることですし、そういったときの体験を話そうと今村さんも張り切っておりました

が森田さんと同じく今日は欠席でございます。
西尾マラソンの当日は、始まる前からすごく寒く、僕が半ズボンと T シャツで出ようとしたら「絶対ダメ」と言われて、フリースまで着たままスタートし、そのおかげで完走できました。
そういう環境の中で走り出すまでは、今村さんも初めてですし、僕も一応ゴールしたあと今村さんが来るのを 2 時間位待ってなきゃいけないだろうと話しながら走り出した時に、今村さんがうちのクラブには田中さん、田島さんもいるし、先程完走できなかったとご紹介した森田さんもいるし、マラソン部でも作ろうと同好会の話になり盛り上がっておりました。とりあえず田中さんを総監督にすれば何とかなるだろう、堀江さんは鬼軍曹として入会 3 年未満は明日から軍曹が声をかける、ということになっております。
同好会は何でも楽しいので、会員のみなさんもその他の同好会についてスピーチしていただきたいと思っていますのでよろしくお願いします。
それでは、無事に同好会が発足した暁には、総監督から叱咤激励を軍曹にしていただいて、それが軍曹から 3 年未満に降りてくるという感じで行きたいと思います。

財団 NEWS2022 年号外より抜粋

（会長挨拶でご紹介）

ウクライナでの人道的危機への対応

【ロータリー財団がウクライナ地域での直接的人道支援の窓口を設置】

深刻化するウクライナでの人道的危機への対応として、ロータリー財団は現在、ロータリー地区が実施している救援活動を支える資金を世界中のロータリー会員が寄付することのできる正式な窓口として、災害救援基金を指定しました。
これに伴い、ロータリー財団は以下を承認しました：

● 現在から 2022 年 6 月 30 日まで、ウクライナと国境を接する指定ロータリー地区とウクライナ国内のロータリー地区は、災害救援基金から各地区 50,000 ドルまでの補助金を申請できます。迅速な手続きが行われるこれらの補助金は、水、食料、シェルター、医療品、衣服といった救援物資を含め、この危機による難民や被災者の支援に利用できます。

● 上記の期間、難民やそのほかの被災者への支援を希望する、影響を受けたほかのロータリー地区も、災害救援基金から 25,000 ドルの補助金を申請することができます。

● 現在から 2022 年 4 月 30 日まで、ロータリー地区は未配分の地区財団活動資金（DDF）を災害救援基金に充て、ウクライナと関連する人道的補助金を支援することができます。

● ウクライナ支援のための災害救援基金への寄付は、こちらからお寄せいただけます。ウクライナでの救援活動を支援するための災害救援基金へのご寄付は、2022 年 4 月 30 日までに行う必要があります。

● ロータリー財団を通じた支援は災害救援基金が主な窓口となりますが、ロータリークラブとローターアクトクラブもウクライナでの人道的危機に対して独自の支援を行うことが奨励されています。

【よくある質問】

Q. ウクライナ支援のための寄付は、どのようにすればよいですか？

A. ご寄付の際の寄付分類は、「ロータリー災害救援基金」をお選びください。銀行振込でもオンライン寄付（クレジットカード決済）でも両方可能です。

● 銀行振込でのご寄付の場合： 銀行振込と合わせて「寄付送金明細書」を日本事務局へお送りください。寄付分類欄には、「ロータリー災害救援基金」をお選びください。

● 地区で集めた場合、クラブに代わってオンラインで寄付（代理寄付）をすることはできませんので、銀行振り込みでご対応いただくこととなります。寄付送金明細書にクラブごとの金額を記載してお送りください。

● オンライン寄付の場合： こちらの画面からオンライン寄付のお手続きをお願いいたします。役職登録済みのクラブ会長、幹事、事務局の方などは、所属クラブまたはクラブ会員に代わって寄付の手続きができます。（このリンクから手続きする場合は、自動的に寄付分類にロータリー災害救援基金が選ばれています。）

Q. 寄付の手続きは、通常となにか変わりますか？

A. いいえ、通常の手続きと同じです。
寄付分類欄で「ロータリー災害救援基金」を選びます。なお、寄付は個人名での寄付のほか、法人名・クラブ名での寄付も可能です。個人名や法人名での日本円での寄付は、税制上の優遇措置の対象となります。

Q. ポール・ハリス・フェローなど認証の対象、クラブの寄付実績の対象になりますか？

A. はい、対象になります。ウクライナ支援のためのロータリー災害救援基金へのご寄付も、ポール・ハリス・フェローやマルチプル・ポール・ハリス・フェロー、メジャードナー等、年次基金が対象となる各種認証や寄付データに算入されます。（ベネファクターの対象にはなりません）。My ROTARY から閲覧できる各種レポートでも、年次基金の寄付実績に算入されます。ただし、年次基金-シェアとは異なるので DDF には算入されません。